

東伊豆・中伊豆地域公共交通網形成計画の評価等結果（平成30年度～令和4年度）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
公共交通（鉄道、路線バス、デマンド型交通、タクシー）の利用者数 35,118千人/年(2016)→維持	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道と路線バスの乗継改善 ・路線バスのダイヤ見直し ・交通結節点における案内の充実 	協議会調査	26,081千人/年(R4) →目標未達 ※確定前の数、若干上回る見込み	新型コロナの影響に伴い大幅に落ち込んだ。重要な指標であり次期計画でも掲げるが、算定方法を工夫する。	
公共交通人口カバー率 86.2%(H22) →現状以上	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス網の再編 ・デマンド型交通の導入 	協議会調査	86.3%(R3) →目標達成	成果が得られた。次期計画でも引き続き目標に掲げる。	
既存路線バスの見直しや、新たな地域交通の導入 →13案件以上	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス網の再編 ・デマンド型交通の導入 	協議会調査	6件(R4) →目標未達	目標に達しなかった。次期計画では、デジタル技術も活用して引き続き取り組む。	
乗り方教室の開催、利用促進ツール作成等の案件 →13案件/年以上	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り方教室の開催 ・利用促進ツールの作成 	協議会調査	13件/年(R4) →目標達成	成果が得られた。次期計画でも引き続き目標に掲げる。	
観光客の利用促進に関する取組の実施 →5案件以上	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな周遊きっぷの作成 ・交通結節点における案内の充実 ・旅行を補助するウェブサイトや観光マップの作成 	協議会調査	5件(R4) →目標達成	成果が得られた。ウィズコロナ社会を見据え、次期計画でも引き続き目標に掲げる。	

東伊豆・中伊豆地域公共交通網形成計画 評価に係る数値指標

	年間利用者数（千人）						
	目標設定年 （現状）	計画策定	計画1年目	計画2年目	計画3年目	計画4年目	計画5年目
	H28 (2016)年度	H29 (2017)年度	H30 (2018)年度	R1 (2019)年度	R2 2020)年度	R3 (2021)年度	R4 (2022)年度
合計	35,118	35,509	35,310	33,811	22,115	23,441	26,081
鉄道合計	21,140	21,461	21,273	20,874	13,500	14,617	16,115
JR伊東線（熱海駅、伊東駅）	6,436	6,737	6,717	6,604	3,966	4,478	※4,478
伊豆急行線	4,904	4,890	4,757	4,609	2,565	2,700	3,493
伊豆箱根鉄道駿豆線	9,800	9,835	9,798	9,660	6,970	7,439	8,143
路線バス合計	9,546	9,894	10,025	9,198	6,499	6,426	6,911
東海自動車	6,044	6,383	6,357	5,932	4,311	4,010	4,238
伊豆箱根バス	2,635	2,667	2,814	2,428	1,511	1,768	2,023
富士急シティバス	867	843	855	838	677	649	650
デマンド型交通合計	1	2	2	2	2	2	2
伊東市	0.32	0.37	0.49	0.53	0.37	0.27	0.12
伊豆の国市	1.09	1.21	1.31	1.32	1.33	1.65	1.82
タクシー合計	4,430	4,152	4,010	3,737	2,114	2,395	3,053

※令和5年夏に集計予定、令和3年度と同数とした